

第 30 期 事 業 報 告

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

株式会社 エヌエイチケイプラネット

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業運営の経過及び成果

当社は第30期(平成29年度)における売上高が91億円余り、営業利益が4億1千万円余りと統合・合併後、いずれも最高を記録しました。近畿総支社が手懸けた「特別展 海北友松」と「特別展 北斎」、「国宝展」の3つの大型展覧会がいずれも目標の入場者数を大幅に上回る盛況だったため、この3つの展覧会による売上高はあわせて17億6千6百万円と当社全体の売上高のおよそ19%に上りました。NHKからの番組制作、事業イベントの受託も堅調で、当期は業績が極めて好調でした。

当期はNHKの「地域改革」と「働き方改革」への対応にも取り組みました。NHKは地域の放送・サービスの強化、いわゆる「地域改革」を打ち出しました。地域貢献の役割を担う当社としてはこれまでの豊富な経験とノウハウを活かす機会と捉え、地域から公共メディアの実現を支えるため、拠点局と連携しながら体制の整備に取り組みました。

また、NHKは「働き方改革」について、グループあがての本格的な取り組みを進めています。当社も労働時間の削減を図るために全社共通目標を独自に設定し、各(総)支社に四半期ごとの報告を求めるなど、取り組みを進めました。さらに社員向けに「社長メッセージ」を、勤務管理者向けに取り組みのさらなる強化策を求めた「本社指示」を出し、当社としても労働環境のいっそうの改善に向けた取り組みを加速させました。

当社の基盤整備に取り組むプロジェクト「Vision10」は昨年5月の発足以来、メンバー間における討議を重ねたほか、全社員を対象にしたアンケートなども実施し、提言を3月にまとめました。提言は組織・体制面、人事施策面、賃金・考課制度と多岐に渡り、「オールプラネット」をキーワードに経営基盤の整備と強化を求めています。今年度は提言の実現に向けた作業を進めることにしています。

番組制作ではNHKからの委託番組として「うまいっ!」、「歴史秘話ヒストリア」、「超絶 凄ワザ!」、「ごごナマ」、「人生デザインU-29」、「あさイチ・ピカピカ☆日本」、「バラエティ生活笑百科」などを地上波で制作し、BSプレミアムで「釣りびと万歳」、「食材探検 おかわり! にっぽん」、被災地復興支援番組の「きらり! えん旅」を制作しました。国際放送でも「Core Kyoto」、「J-Trip Plan」などの定時番組を受託し、特集番組も「明日へつなげよう きらり! えん旅スペシャル 涙とグルメ東北縦断の旅」や「のんびりゆったり路線バスの旅 スペシャル」、NHK ワールドの「父の国へ～ベトナム残留日本兵家族の旅～」などを制作し、当期も地域情報の全国及び海外発信に積極的に取り組みました。地域放送においても特集番組やニュース・情報番組を引き続き受託し、各地域拠点局の要請に応えました。

イベント事業では拠点局から公開番組や学校音楽コンクール、「地域貢献イベント」などの業務を受託したほか、NHKが進める地域支援の拡大に伴い、地域放送局の事業・イベントも当期から本格的に受託しました。美術・展博では近畿総支社の「海北友松」「北斎」「国宝」の3展が業績に顕著な貢献を果たしました。また、中部支社の「体感! 戦国城下町・岐阜 信長公ギャラリー」など、地域で行われる公共性の高い各種イベントや映像制作にも携わりました。

(2) 各支社別の概況

(本社)

29年度から全面受託となり、各(総)支社と連携して制作した全中定時番組「うまいッ!」、「あさいち・ピカピカ☆日本」「あさいち・JAPAなび」のほか、新たに「ごごナマ IP 中継」を受託しました。また、BSプレミアムの定時番組「釣りびと万歳」、「食材探検 おかわり! にっぽん」、被災地復興支援番組の「きらり! えん旅」なども制作しました。この他、特集番組として「明日へつなげよう きらり! えん旅スペシャル 涙とグルメ東北縦断の旅」、NHKワールドでも「父の国へ～ベトナム残留日本兵家族の旅～」を提案・制作しました。地域放送では首都圏向けの昼前情報番組「ひるまえほっと」で「かんたんごはん」、「いま旬市場」、メインコーナーでは東京五輪関連の特集なども制作しました。

イベントでは「NHK公開復興サポート 明日へ」の東京事務局を担い、福島・南相馬と東北以外で初めてとなった熊本での開催について、該当各支社と連携して対応しました。

(近畿総支社・四国支社)

全中番組の内、趣味・実用番組は「きょうの料理」、「すてきにハンドメイド」、「まる得マガジン」「俳句王国がゆく(四国)」を制作しました。文化・情報番組は、「歴史秘話ヒストリア」、「こころの時代」、芸能番組は「バラエティー生活笑百科」、「日本の話芸」、「上方落語の会」等を制作しました。このほか「京の顔見世大歌舞伎」、「新日本風土記」、BSP「京都異界中継」を提案・制作しました。また29年度からスタートした「ごごナマ」金曜日14時台、昼前番組「四国おひるのクローバー(四国)」を新たに受託しました。昼前情報番組は四国支社の受託により、すべての拠点局でプラネットが受託することになりました。8Kの取り組みでは実験放送用に「うたコン」を2本収録し、本放送用のソフトとして宝塚歌劇全5組公演のうち1組を収録しました。さらに展覧会「北斎」と関連した「歴史秘話ヒストリア」2本と4K特集番組の全中番組あわせて3本を制作し、文化事業と連動してSHVへの対応に取り組みました。地域放送は「ぐるっと関西おひる前」、「まちけん参上!」日曜朝の「ルソンの壺」、「ひめポン(四国)」等を制作しました。

NHKからの委託事業は「NHK杯フィギュアスケート」「紅白歌合戦」、「ピオンチャンオリンピック」の8Kによるパブリックビューイングを手懸けたほか、東京オリンピック関連として、1000日前イベント「千日前でわろてんか」を実施しました。自主事業のうち、イベントは「大阪港開港150年記念式典」「南方熊楠生誕150周年記念シンポジウム」等を実施し、映像制作は「ふるさとひょうご五国物語」、「堺市映像制作・発信業務」、「知恩院御影堂解体修理記録映像」等を手掛けました。展覧会事業は「国宝」、「北斎～富士を超えて～」、「海北友松」の3つの展覧会がいずれも入場者が想定を大幅に上回り、経営面でも大きな成果をあげました。NHK大阪ホールの管理・運營業務は安全・安心なホールとして大きなトラブルもなく実施しました。

(中部支社)

番組は全国放送として「超絶 凄ワザ!」や「あさいち・ピカピカ日本&JAPA ナビ」、また事務局を担当した「路線バスの旅」などを制作し、国際放送向けには「J-Trip Plan」を制作しました。地域放送は昼前情報番組「さらさらサラダ」、「日曜Tube」、音楽ライブ番組「U

ta-Tube)、夕方のニュース番組「ほっとイブニング」特集企画&企画中継のほか、金とく「中部ネイチャーシリーズ」(SHV 制作)や「第 15 回全日本学生落語選手権策伝大賞」などを制作しました。

受託事業では名古屋放送会館イベントで「NHKパパママフェスティバル」、「大相撲名古屋場所 60 年イベント」、地域貢献イベントで「直虎コンサート」、地域局支援業務として「音コン」や「のど自慢」などを手掛けました。また、「地域映像アーカイブシステム」を軸に静岡放送局や仙台放送局の公開スペース制作業務を受託しました。その他、名古屋放送局などのデジタルサービス制作・HP 更新業務、データ放送制作業務などを実施しました。自主事業では、中部支社29年度最大の事業「体感！戦国城下町・岐阜 信長公ギャラリー」や「東儀&古澤&coba 全国ツアーコンサート」、などを実施し、メディア関連では、「防災ほっとメール」や「地域映像アーカイブ事業」なども手掛けました。

(中国支社)

番組は全国放送の「プロフェッショナル仕事の流儀 プロ野球スカウト 苑田聡彦」や「英雄たちの選択」のほか、国際放送の「J-Trip Plan」、「トレインクルーズ」を制作、地域放送では、昼前の情報番組「ひるまえ直送便」や、4K・スーパーハイビジョンで制作したシリーズ「瀬戸内宝石箱」などを受託しました。

受託事業は広島放送局開局90年事業「レッドシンフォニー“赤”につながる音の旅」や「ひろしまフラワーフェスティバル」などを実施、自主事業は「N響・福山公演」や「小倉城天守閣展示映像」などのイベントやソフト制作を手掛けました。

(九州支社)

番組は「うまいっ!」、「ひるブラ」などの全中番組を制作し、国際放送向けに「J-Trip Plan」、「トレインクルーズ」、地域番組として「はっけん TV」、「アサタビ!」のほかに九州沖縄特集「阿蘇に復興の灯をともしたい～南阿蘇村・地震から1年～」や「世界文化遺産 登録決定スペシャル『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」、「なるほど実感報道ドドド!『あなたも危ない!? 中高年登山“意外な落とし穴”』」などを制作しました。

事業は地域貢献イベント「サクライブ」、被災地支援の「熊本地震復興キャラバン」、「NHK 公開復興サポート明日へ in 熊本」、大河ドラマ「西郷どん」関連イベントを実施しました。

(東北支社)

番組では東日本大震災から7年を迎えた今年も「あさイチ アッキーがゆく“復興の地”」など被災地に寄り添った番組を制作したほか、「新日本風土記～岩手山～」などの番組を制作しました。地域放送では「みちたん ああ! すばらしきセカイ」、昼前情報番組「ひるはぴ」などを制作しました。

受託事業では「公開復興サポート」を福島県南相馬市で実施し、仙台局新会館オープンに合わせた公開番組やイベントなども実施しました。

また仙台局新会館オープンに伴い、支社の事務所を12月に新会館周辺に移転しました。

(北海道支社)

番組は全国放送として「うまいっ!」、「ひるブラ」「あさイチ・ピカピカ日本」などを制作しまし

た。国際放送は「さわやか自然百景」の素材を有効活用して制作する「Wild Hokkaido!」を定時番組として立ち上げ、北海道向けに日本語字幕版も放送しました。地域放送は「おはよう北海道 土曜プラス」、「つながる@きたカフェ」、「穴場ハンター」などを制作しました。

事業は受託事業として「ゴッホ展」「北の大地コンサート」「10代とつくるコンサート」などの運営を行い、自主事業は地元新聞社と協力して開催した「無言館展」のほか、自治体から受注した展示用映像も制作しました。

(3) 対処すべき課題

当社の新しい3か年経営計画では2つの基本方針を掲げました。その1つが「地域に向き合い、地域に貢献、地域から公共メディア実現へ」です。NHKも向こう3か年の経営計画で「視聴者に一番身近な地域の放送・サービスの強化」を打ち出しました。NHK プラネットはNHKが進める「地域改革」を牽引し、地域社会にいっそう貢献していく必要があります。そのための体制を整備し、番組制作、事業イベントの両輪を確実に展開させていきます。

基本方針のもう1つが「組織・制度をオールプラネットで見直し、経営基盤を整備」です。プロジェクト「Vision10」は「オールプラネットで経営基盤を盤石化」、「最適な業務遂行体制の構築」、「処遇の改善に向けた新賃金制度と考課制度」の3つを提言のコンセプトに経営基盤の充実・強化に向けた施策を提言しました。30年度はこの提言の具体化が求められます。施策を実現するための体制を改めて構築し、構造改革を実現に導くことが必要です。

また、当社の3か年経営計画では「働き方改革」を優先課題と位置づけ、働き方を抜本的に見直す方針を打ち出しました。これまでに改革を推進する仕組みを整備しましたが、今後は仕組みの的確な運用と実効性の確保が求められます。

(4) 設備投資等の状況

当期において実施した設備投資の総額は、48,687千円で、主な内容は、編集機の購入14,317千円、パソコンの購入9,124千円、電話交換機の購入5,213千円等です。

(5) 財産および損益の状況の推移

区 分	第27期 (平成27年3月期)	第28期 (平成28年3月期)	第29期 (平成29年3月期)	第30期 (平成30年3月期)
売上高 (千円)	7,042,312	7,810,761	7,002,448	9,157,423
経常利益 (千円)	223,591	194,277	144,900	413,991
当期純利益 (千円)	122,276	115,504	72,584	277,645
1株当たり当期純利益(円)	25,911	24,476	15,381	58,835
総資産 (千円)	3,889,658	3,988,830	3,937,556	4,167,600
純資産 (千円)	2,554,679	2,625,886	2,653,572	2,501,788

(6) 重要な親会社の状況

当社の親会社は日本放送協会であり、同協会は当社の株式を2,462株（議決権比率の52.17%）保有しています。

当社は、同協会からの受託による放送番組などの企画・制作、イベント・展覧会・博覧会などの企画・実施、NHK大阪ホールの管理・運営などを行っています。

(7) 主要な事業内容

- ① NHKの委託による放送番組の企画・制作
- ② 映像ソフト・マルチメディアコンテンツの企画・制作
- ③ イベントの企画・制作
- ④ 展覧会・博覧会の企画・実施
- ⑤ NHK大阪ホールの管理・運営

(8) 主要な事業所

区 分	所 在 地
本社	東京都渋谷区神山町5-20 神山町小川ビル
近畿総支社	大阪市中央区谷町三丁目1-18 NS21ビル
同 四国支社	松山市堀之内5 NHK松山放送局内
中部支社	名古屋市東区東桜一丁目13-3 NHK名古屋放送センタービル
中国支社	広島市中区大手町二丁目11-10 NHK広島放送センタービル
九州支社	福岡市中央区六本松一丁目1-10 NHK福岡放送センタービル
東北支社	仙台市青葉区本町二丁目9-7 仙台YFビル
北海道支社	札幌市中央区大通西一丁目 NHK札幌放送局内

(9) 従業員の状況

区 分	従 業 員	NHK 出向者 等	合 計
男	60名	83名	143名
女	59名	3名	62名
計	119名	86名	205名

2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 6,000 株
- (2) 発行済株式の総数 4,719 株
- (3) 株主数 50 名

株 主 名	持株数	持株比率
日本放送協会	2,462 株	52.17%
(株)NHKエンタープライズ	650 株	13.77%
(株)NHKグローバルメディアサービス	273 株	5.79%
(株)NHKプロモーション	162 株	3.43%
(株)NHKメディアテクノロジー	138 株	2.92%
(株)NHKエデュケーショナル	108 株	2.29%
(株)NHK文化センター	66 株	1.40%
(株)NHK出版	66 株	1.40%
(株)みずほ銀行	61 株	1.29%
(株)NHKアート	56 株	1.19%
(株)NHKアイテック	56 株	1.19%
(株)三菱東京UFJ銀行	37 株	0.78%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	29 株	0.61%
学校法人君が淵学園 (株)西日本シティ銀行 (株)福岡銀行 (株)ベスト電器 (株)ふくや 東北電力(株) (株)藤崎	各 24 株	各 0.51%
京都府 兵庫県 滋賀県 京都市 神戸市 奈良市 大津市 阪急電鉄(株) 関西電力(株) 京阪ホールディングス(株) 大阪瓦斯(株) 近鉄グループホールディングス(株)	各 20 株	各 0.42%
中部電力(株) 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) トヨタ自動車(株)	各 17 株	各 0.36%
(株)ゼンリン	12 株	0.25%
(株)北洋銀行	10 株	0.21%
福山通運(株) 中国電力(株) 広島ガス(株)	各 6 株	各 0.13%
高山市 東邦瓦斯(株) セイノーホールディングス(株) スターキャット・ケーブルネットワーク(株) 伊藤組土建(株) 北海道電力(株)	各 5 株	各 0.11%
(株)天満屋 (株)福屋 (株)広島東洋カーブ	各 3 株	各 0.06%

3 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	山 崎 秋一郎	
専務取締役	井 上 利 丸	近畿総支社長
常務取締役	河 村 秀 世	本社経営企画室長
取締役(非常勤)	奥 理 人	NHK編成局編成センター長

取締役（非常勤）	桑代百合子	NHK首都圏放送センター長
地 位	氏 名	担当または主な職業
取締役（非常勤）	山本英俊	NHK関連事業局 専任部長
取締役（非常勤）	佐藤幹夫	株式会社NHKエンタープライズ専務取締役
取締役（非常勤）	畠山経彦	株式会社NHKプロモーション代表取締役社長
監査役	大月将幸	弁護士・公認会計士
監査役（非常勤）	古椀裕章	株式会社みずほ銀行 営業第十八部次長
監査役（非常勤）	柳田祐子	NHK内部監査室監査部主幹

- (注) 1. 平成29年6月28日付で、山崎 秋一郎が代表取締役社長に、奥 理人、桑代 百合子、山本 英俊が取締役に就任しました。
2. 平成29年6月28日付で、森崎 義人が代表取締役社長を、渥美 哲、行成 博巳が取締役を辞任しました。

(2) 取締役および監査役の報酬等の額

対象者	人数	報酬の額
取締役	3名	49,041 千円
監査役	1名	8,508 千円

- (注) 1. 使用人兼務取締役の使用人分給与はありません。
2. 株主総会決議による取締役に対する報酬限度額は、年額 100,000 千円、監査役に対する報酬限度額は、年額 20,000 千円であります。

4 会社の体制及び方針

(1) 当社の業務の適正を確保するための体制の整備について、取締役会で決議した内容は次のとおりです。

①取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役は、職務の執行が法令・定款に適合することを確保するため、職務分担に従い、諸規則、規程等を整備し、社内でその周知・徹底を図る。取締役会規則を遵守し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互の業務執行を監督し、監査役はこの内部統制に関する体制の有効性と機能を監視し、課題の早期発見と是正に努める。

②取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

関連規程を整備し、取締役の職務執行に係わる情報を、文書で適切に保存する。取締役及び監査役は、規程により、必要な時には何時でもこれらの文書を閲覧できる。

今年度も引き続き文書管理規程等に基づき、各会議の議事録等の文書を作成・保管し、監査役に対しては期中監査・期末監査を通じて閲覧の用に供した。

③損失の危険の管理に関する規程その他の体制

代表取締役社長をリスク管理統括責任者とし、事業活動に伴う重大なリスクの顕在化を防ぎ、万一リスクが顕在化した場合の損害を最小限にとどめるためのリスク管理体制を整備して、その適切な運用・管理にあたる。

④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会において、各取締役の業務分担を明確にし、各機関及び各職位の権限等を規程に定めて、会社の意思決定及び執行を効率的かつ適正に行う。取締役会で経営資源の配分を決定し、年度事業計画により具体的な経営目標を定め、常勤役員会でその進捗状況を分析して、各部門が実施すべき具体的施策を検討し、効率的業務を遂行する。

⑤使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

諸規則・規程・「倫理・行動憲章」等マニュアルなどを周知徹底し、遵守させることによって、法令及び定款に違反する行為の未然防止を図る。

⑥会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

親企業であるNHKのコンプライアンス体制と連携しつつ業務の適正を確保する。

⑦監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役は、その職務を補助するために使用人が必要な場合、本社経営企画室の使用人に監査業務に必要な事項を命令することができる。

⑧前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役より監査業務に必要な命令を受けた使用人は、その命令に関して、取締役等の指揮命令を受けない。

⑨取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

監査役は、重要な意思決定のプロセスや業務の執行状況を把握するため、取締役会その他の重要な会議に出席するとともに、決裁書類等の業務執行に係わる重要な文書を閲覧し、必要がある場合にはいつでも取締役及び使用人に説明を求めることができる。

取締役は会社に重大な影響を及ぼす事実を発見した時は直ちに監査役に報告する。

⑩その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、取締役と必要に応じて会合を持ち、監査上の重要課題の意見及び情報の交換を行い、監査の実効性の確保を図る。

また、この取締役会決議を適切に実行するため、「株式会社NHKプラネット倫理・行動憲章と行動指針」を定めて、その遵守を図るほか、取締役会規則、常勤役員会規則、コンプライアンス推進計画、文書管理規程などの諸規程の制定・整備、コンプライアンス推進委員会の設置、取締役会議事録、常勤役員会議事録の整備などに努めています。さらに、当社の親会社であるNHKを中核とする企業集団の業務の適正性の確保のため、当社でもNHKの定めた「NHK倫理・行動憲章」「関連団体運営基準」などに従って、適正な業務運営に努めています。

(2) 運用状況の概要

当社の取締役会は、取締役8名（うち、非常勤取締役5名）で構成されており、当期は9回開催しました。社外監査役2名を含む3名の監査役も出席し、取締役が業務執行状況を報告するとともに重要事項の審議・決議を行っています。また、前期に経営監視機能の強化および向上を目的として、初めて任用した常勤監査役は、取締役会のほか常勤役員会等の社内の重要会議にほぼ全て出席するとともに、取締役より業務執行の状況について報告を受け、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備しています。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、引き続き、常勤役員会の開催に合わせ、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定を行っています。また、当社独自の内部監査機能としての取り組みである「支社間相互モニタリング」を北海道、中部、近畿各(総)支社で実施し、業務プロセスを検証する「ウォークスルー」を九州支社で行いました。このほか、四国支社を対象に行われたNHKの内部調査において、助言された事項については全社で共有するなど、内部統制の強化につ

なげました。

(3) 全社的內部統制の評価

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」の6つの観点から整備状況及び運用状況の有効性を評価した結果、平成30年3月31日時点における当社の内部統制は、概ね有効であると判断しました。